

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-131141

(P2001-131141A)

(43)公開日 平成13年5月15日(2001.5.15)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームコード(参考)
C 0 7 C 317/44		C 0 7 C 317/44	4 C 0 2 3
A 0 1 N 37/30		A 0 1 N 37/30	4 C 0 3 3
41/02		41/02	4 C 0 5 5
41/10		41/10	4 H 0 0 6
43/10		43/10	G 4 H 0 1 1
審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全110頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願平11-338715

(22)出願日 平成11年11月29日(1999.11.29)

(31)優先権主張番号 特願平10-340379

(32)優先日 平成10年11月30日(1998.11.30)

(33)優先権主張国 日本(J P)

(31)優先権主張番号 特願平11-234329

(32)優先日 平成11年8月20日(1999.8.20)

(33)優先権主張国 日本(J P)

(71)出願人 000232623

日本農業株式会社

東京都中央区日本橋1丁目2番5号

(72)発明者 遠西 正範

大阪府堺市北野田296-1-201

(72)発明者 中尾 勇美

大阪府河内長野市木戸町473-6-902

(72)発明者 河野 栄司

愛知県尾西市玉野字杵ノ戸48番地の1

(72)発明者 西田 立樹

大阪府富田林市甲田3丁目7-22-202

(74)代理人 100068618

弁理士 萼 経夫 (外2名)

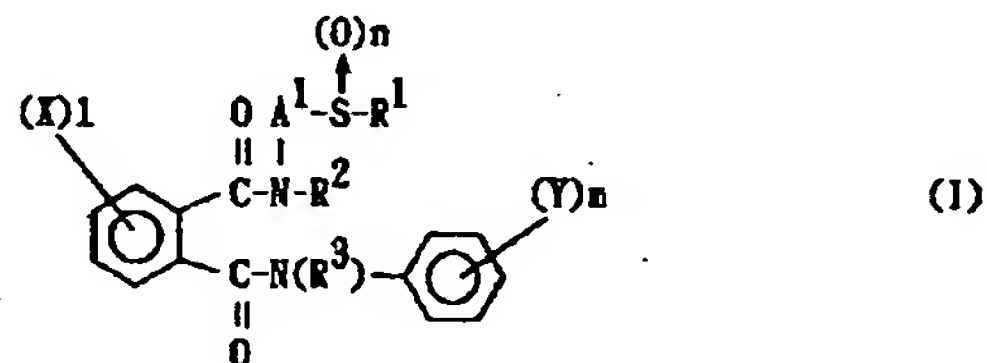
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 フタラミド誘導体又はその塩類及び農園芸用殺虫剤並びにその使用方法

(57)【要約】

【解決手段】 式(I):

【化1】



〔式中、A<sup>1</sup> は(置換)アルキレン、(置換) C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキニレン、(置換) C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルケニレン等、R<sup>1</sup> はH、(ハロ)シクロアルキル、(置換)フェニル、(置換)複素環基、-A<sup>2</sup>-R<sup>4</sup>等、R<sup>2</sup> 及びR<sup>3</sup> はH、シクロアルキル、-A<sup>2</sup>-R<sup>4</sup>等、A<sup>2</sup> は-C(=O)-、-C(=S)-、-C(=NR<sup>5</sup>)-等、R<sup>4</sup> はH、アルキル、(置換)フェニル、(置換)複素環基等、X及びYはハロゲン、シアノ、ニトロ、(置換)フェニル、(置換)複素環基等、lは0~4、mは0~5、nは0~2。〕で表されるフタラミド誘導体又はその塩類及び該化合物を有効成分とする農園芸用殺虫剤並びにその使

用方法。

【効果】 式(I) のフタラミド誘導体又はその塩類は、農園芸用殺虫剤として優れた防除効果を示すものであり、又、たの農園芸用殺虫剤、殺ダニ剤、殺線虫剤、殺菌剤、除草剤、植物成長調節剤、生物農薬等と混合使用することによっても優れた防除効果を奏するものである。